

4 月度コラム “大震災後我々は今何をなすべきか！！”

今回の東日本大震災にて多くの犠牲者の方々に心よりお悔やみを申し上げます。また、行方不明の方々が一刻も早く発見され、被災された方々の平穏な生活が復活されることを願ってやみません。三陸沖を震源とするマグニチュード 9.0 の極めて強い地震は過去最大規模の地震災害をもたらしました。福島第 1 原発の危機、生産、物流、情報、エネルギー、日本経済の最大の試練かつ復興への道のりは厳しいに違いありません。

この度は大震災後の緊急セミナーとしてここにご提案させていただきます。

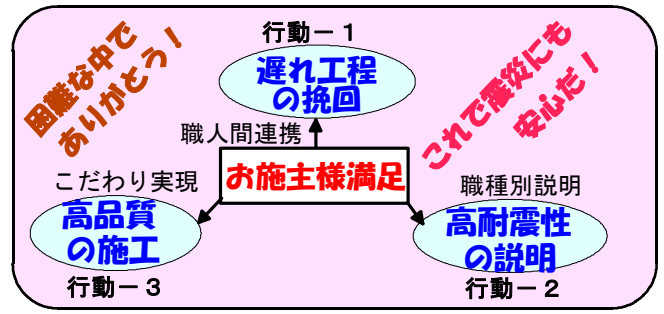
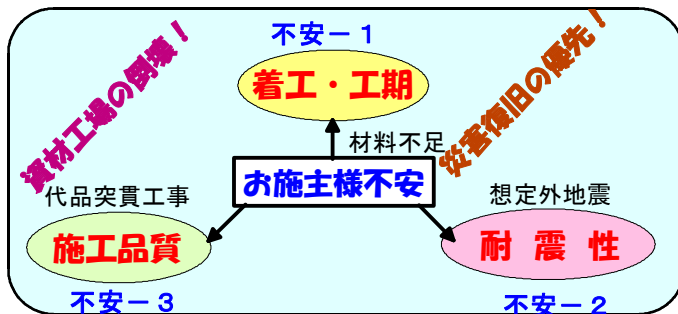
住宅建設業界『東北関東大震災緊急セミナー』

東北関東大震災では、住宅の資材・設備メーカーの工場や、物流拠点が被災してしまったことにより、商品供給に支障をきたしてしまい、現場では着工見送り・上棟停止・引渡し延期などが続出しています。又、長期化の懸念から新規受注も停止するなど今後の経営業績の見通しは不透明です。そんな最中、今社員や協力業者会が何をなすべきかを明確にするセミナーです。

今の困難現場で“頑張る仕事ぶり”がお施主様満足の手決め手！

東北関東大震災後のお施主様の 3 大頂点不安

不安解消（クレーム軽減）行動



項 目	講 演 概 要
1. 東北関東大震災後の住宅業界影響予測 2. お施主様の頂点不安 3. 高耐震性住宅の新広義 4. 協力業者会のあり方 “頑張る仕事ぶり” 法 — 3 時間セミナー終了 — ↓ 1 日討議型研修の場合 ↓ 5. お施主様不安解消法 — 討議検討 —	<ul style="list-style-type: none"> ・大震災後に長期化する現場の 3 大混乱（着工・上棟・引渡しの停止）を知る原因 <ul style="list-style-type: none"> ①住設（例：給湯・発電）不足—燃料調達困難・物流壊滅・停電 ②建材（例：合板・断熱・モルタル）不足—工場倒壊・増産困難・復興優先 ③サッシ（例：複層と加工ガラス）不足 —計画停電で工場操業停止 ・大震災後のお施主様の 3 大不安を知る 不安：①未着工・工期延長 ②同規模地震での耐震性 ③代用品での突貫工事・大震災後に広義化した高耐震性住宅の新定義を知る 新定義：耐躯体変形性（工法）＋①耐エネルギー性（例：計画停電・燃料） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 従来の耐震性・省エネ性 耐久性・耐劣化性の 説明視点を工夫！ </div> ②耐浸水・水圧性（例：出水・津波） ③耐地盤変位性（例：地割れ・液状化） ④耐空バリア性（例：放射性飛散物） ⑤耐再建性（例：復興建築） ・上記の状況下で今、業者会が何をなすべきかを明確にする 3 大行動：①遅れ工程の挽回行動 → 職人間の連携による手戻り防止 ②高耐震性住宅の PR → 職種ごとに該当する優位性を説明 ③代品、突貫工事の不安解消 → 施主こだわりの品質徹底 厳禁言動：被災（者）無配慮の売り込み “10 悪言動” ・職種別にお施主様不安対応法を討議し現場で使えるようにする 選択討議テーマ：①遅れ工程の挽回連携法 ②高耐震性工事・商品の説明法 ③代用品の品質設営法 ④被災（者）無配慮の厳禁言動
※帰社後、即受注活動に役立つ『行動チェック式テキスト』を進呈！	
セミナー型式：3 時間	定員：なし